

1. 第16回フォーラムの開催 (2015. 3. 14)

第16回山のトイレフォーラムが道立道民活動センター（かでる2・7）で、54名の参加者を迎えて開催されました。テーマは「美瑛富士トイレ問題～ついに山は動き出した」です。

今年は美瑛富士に携帯トイレブースを設置して携帯トイレ利用促進地として試行実施します。この初めての取り組みについて道内外の事例を基に討論しました。

- ・携帯トイレブースは道内の山岳団体により維持管理
- ・携帯トイレブースの設置は環境省
- ・回収ボックスの設置は山のトイレを考える会
- ・使用済み携帯トイレの処分は美瑛町にお願いする
- ・地元の白金温泉のホテル、旅館の協力を得る等です。

また、黒岳バイオトイレや羊蹄山避難小屋の土壌処理トイレの現状についても報告がありました。議事要旨と資料集はホームページに掲載されています。



参加者54名。熱心な意見交換が行われた

2. 美瑛富士トイレ管理連絡会 (2015. 3. 14)

美瑛富士に携帯トイレを導入する時の最大の課題は、携帯トイレブースの維持管理を誰が行うかでした。

維持管理について、山のトイレを考える会から北海道の山岳団体等に呼びかけたところ、賛同をいただき、3月14日、「美瑛富士トイレ管理連絡会」を設立することができました。携帯トイレブース等の点検パトロール(維持管理)を1～2週間に1回のペースで分担して実施する組織です。

お陰様で8回の点検パトロールが円滑に実施できました。協力していただいた皆さまに感謝します。

3. 美瑛富士携帯トイレ導入の試行実施 (2015. 6. 28～9. 27)

点検パトロール等の実施日と担当団体は次のとおりでした。なお、十勝岳温泉登山口にも上富良野町の協力で回収ボックスを設置することができました。

- ・6月18日～19日：白金温泉観光センターと十勝岳温泉登山口に回収ボックス設置(※)
 - ・6月28日：仮設携帯トイレブース設置(※)
 - ・7月11日：白老山岳会(点検パトロール)
 - ・7月20日：日本山岳会北海道支部(同上)
 - ・7月25日：札幌山岳連盟(同上)
 - ・8月8日：北海道山岳連盟(同上)
 - ・8月23日：道北地区勤労者山岳連盟(同上)
 - ・8月29日：大雪山パークボランティア連絡会(同上)
 - ・9月6日：道央地区勤労者山岳連盟(同上)
 - ・9月15日：北海道山岳ガイド協会(同上)
 - ・9月27日：仮設携帯トイレブースの撤収(※)
- ※環境省、美瑛山岳会、山のトイレ会等



6月28日、仮設携帯トイレブース(テント型)設置



3ヵ月間設置したが強風で飛ばされなかった

4. 山のトイレの実施 (2015. 9. 6)

2015トイレデーは9月6日に実施しました。今回で15回目です。9月6日以外の別な日にも多くの方が自分の都合に合わせて実施してくれました。北海道の38箇所の登山口で、山のトイレマナー袋やマナーガイドを配布、ティッシュやゴミを拾う清掃登山を行いました。

参加者は90名。トイレマップ401部、マナーガイド1,131部、マナーカード39枚、マナー袋1,670袋を配布することができました。

今回は、特にトイレ紙の持ち帰りを登山者に呼びかけました。携帯トイレを持っている人、トイレ紙は持ち帰っているとの登山者も多く、地道なマナー向上の取り組みが実を結んできた気がします。



樽前山でのトイレデー

5. 山の日イベント展示 (2015. 8. 11)

環境省が主催する山の日制定のイベント会場(東川町)には山用品店や国土地理院など5団体のブースが設けられ、その一角で山のトイレを考える会と上川総合振興局が共同でパネル展示を行いPRしました。



6. 黒岳バイオトイレ・オガクズ掻き出し作業に参加 (2015. 10. 1)

黒岳バイオトイレのオガクズ掻き出し作業に事務局の小枝と仲俣が参加しました。尿尿等のヘリ搬出は毎年、別な日に行うのですが、今回はオガクズの掻き出し作業と同じ日に実施、無事終了しました。



7. 日本トイレ大賞受賞 (2015. 9. 4)

内閣官房で今年から創設された日本トイレ大賞で、当会の活動が環境大臣賞を受賞しました。

全国から378件の応募があり28件が受賞。当会は環境大臣賞でした。

地道につづけてきた活動が評価されたのだと思います。これもひとえに会員の皆様やご協力いただいている個人・団体のみなさまのお陰です。

